



第九たいむず

Beethoven

No.40 2016.3.24 通刊1182号 担当 GON

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX: 027-322-0996 緊急 090-1828-8052(小野里)



厳しかった今年の冬も去り、(冬物をクリーニングに出しあわてた方もいましたが)桜前線ももうすぐそこまで来ました。メイコンまで2ヶ月を切りました。練習も一通り終え、更に深めて行くステージに入ります。練習日だけでは足りません。いろいろ工夫して練習をしましょう。そして楽しい舞台を目指しましょう!

◆先週のおさらい

♪メンデルスゾーン"雲雀"♪

- ・「ひばり」の「ひ」Hをはっきり歌う。
- ・pや ffなどの強弱記号に注意する

♪メンデルスゾーン"雲雀"♪

- ・4P 下の段 2小節目 「(そ)が な かー に」→「(そ)が なー か に」に変更
- ・5P 上の段 1小節目 「(こ)う る あー り」→「(こ)う るー あ り」に変更
- ・5P 上の段 2～4小節目 「なやみはらう」は「なやみはろお」と歌う
- ・5P 下の段 2～3小節目 「おうなあり」は「おおなあり」と歌う

◆2016団員登録受付中です!(登録は5月中に済ませて下さいね)

新年度の団員登録の申し込みを受け付けています。申込書に氏名・住所のほかメールアドレスや電話番号など全て記入してください。＜団費を添えて申し込んでください＞

記入漏れがあると、本人に確認するなど事務局で手間がかかってしまいますので、ぜひ御理解と御協力をお願い致します。また、メールアドレスや電話番号など変更があった場合には、必ず早めにパートリーダーにお知らせください。怠ってしまいますと緊急連絡が届かないことがありますので宜しくお願いします。

◆メイコンサートのチケット配布中です

17日より参加者にチケット20枚＜参加代金8,000円＞配布しています。

代金と引き換えにて受付でお渡しします。チラシは自由にお持ちください。

額面は1枚1,000円です。追加で欲しい場合は受付にて1枚400円でお渡しします。できるだけたくさんのお知り合いに声掛けをし、大勢のお客様に来ていただきましょう。

参加者: 歌い手91名、先生・ゲスト4名、計95名の予定です。

◆今後の予定＜メイコンまで木曜の通常練習を21:00迄に延長します＞

4月10日(日) メイコンサート特別練習 (中央公民館) 10:00～16:00 (昼食各自持参)

5月 5日(木) **メイコンサート特別練習 (練習会場) 16:00～18:00** (18:45～の通常練習もあり)

5月15日(日) メイコンサート (群馬音楽センター)

5月19日(木) 総会、ミニコンサート

5月26日(木) 練習お休み

◆イベント情報

★「邦楽春の祭典2016」4月17日(日)13:00開演 高崎市文化会館 無料(チャリティ募金有り)

バス大里さんが所属する、NPO三曲合奏研究Gの第23回定期演奏会です。群馬県唯一の邦

楽合奏団の演奏会です。日頃聞き慣れない邦楽を如何ですか？ チラシを参照してください。

★ 北大OB会「第9回クラーククラブコンサート」4月23日(土)14:00開演

大田区民ホールアプリコ大ホール(JR蒲田駅徒歩5分)

演奏曲は、「夢見たものは」、「ジプシーの歌」、「北大校歌」、終わりのないアンコール曲等々20数曲を61名で歌います。男声合唱です。バスの安達が出演します。

☆聴きに来て頂ける方にはチケットを贈呈いたします。

★ 赤羽その子「うたぶえスプリングコンサート&春のフレンチディナー2016」4月23日(土)

開演18:00 会場:フランス料理レニエール 5000円(コース料理&1ドリンク付)

赤羽その子先生のキーボード弾き語り、本多悦子先生のリコーダーがディナーと共に楽しめます。◎申し込みは直接フランス料理「レニエール」 TEL:027-322-2341へ

◆「はじまり、美の饗宴展」ご紹介

赤羽洋子

くいつも素晴らしい情報を提供くださる赤羽先生から、先日の「フェルメール展」に引き続き、美術展のご紹介を頂きました。それにしても先生の行動力、発信力凄いです。ありがたいです。>

国立新美術館で開催されている大原美術館コレクション展を観に行ってきた。千代田線乃木坂駅から直結していてアクセスは素晴らしいです。建物は曲線的なガラス張り、コレクションを持たないアートセンターとしての役割を果たしている新しいタイプの美術館です。2007年黒川紀章のデザインで開館して話題になりました。

何度か行っていますが、近代的過ぎて私的には落ち着かない感じがして余り好きではありません。県立館林美術館も同じようにガラス張りですが、窓の外は一面緑が広がっていて深呼吸したくなる美術館で心が和みます。新美術館は夜になったら東京ミッドタウンの夜景が広がりロマンチックな雰囲気が味わえるのかもしれませんが。倉敷市に有る大原美術館は西洋美術を紹介した日本初の本格的な美術館として皆さんも訪れている事でしょう。多分美術展のタイトル「はじまり」はそれから来ているのでしょうか。今回の目玉はエル・グレコ「受胎告知」、グレコ特有の体が長くアンバランスなのに何故かバランスがとれているマリア様の瞳と光り輝いている鳩が印象的でした。

ピカソ「頭骸骨のある静物」にも圧倒されました。前回の第九スペイン公演で観た「ゲルニカ」を思わせる直線と黒白の色使いが力強く、空爆への憤り、レジスタンス、平和を訴える心が伝わって声が出ませんでした。私は美術展に行くと、今日観た中でどれが一番好きか！もしも貰えるなら(笑)どれにしようかな～と考える事にしています。ジョバンニ・セガンティーニ「アルプスの真昼」吸いこまれそうな空の青、私の部屋に置きたい衝動にかられました。

「受胎告知」は430年前の作品。長い年月 人類の遺産として愛され守られている芸術作品の数々、素晴らしいです。音楽を愛し大切に守り続けている私たちにとって美術、音楽、芸術って凄い力ですね。

◆「箱根八里」1日踏破の思い出

大里和熙

先日、「箱根八里」の我が家のエピソード(風呂で息子達に歌わせた話)を紹介しましたが、三島に住む私には、「箱根八里1日踏破」の思い出があります。2001年5月1日、私57才、妻55才併せて112才の熟年(でも若かった)夫婦で、朝8時小田原駅出発、箱根旧道(これが箱根八里)を歩き、午後6時合計10時間歩き、へろへろになり三嶋大社大鳥居の石段に座り込みました。歌にあるとおり、天下の陰は厳しいものでした。苔むした丸い石を敷き詰めた急坂、昼なお暗き杉並木、滑りやすい赤土の西坂(峠から三島側を西坂、小田原側を東坂と云います)つらかったです。でも踏破！まだ若かったな～と今は思います。もう出来ないでしょう。

